

English follows Japanese

創世記 17 章 15-27 節 契約のしるし パート 2

今日は、創世記 17 章契約のしるしについての後半パート 2 に入ります。神はアブラハムに臨まれ、彼に彼の名前がアブラムの代わりに契約を絶えず思い出させるようアブラハムとなることを伝えました。そして、先週の締め括りでは、神がアブラハムに契約のしるしとして彼の男子の親戚全員が割礼を受けると伝えます。アブラハムの生涯のこのエピソードが終わりを迎える時、私たちの見ることは彼の反応から人の性質は変わらないということ見ます。アブラハムが犯す同じ過ちを今日、私たちは人として犯し続けています。それでもアブラハムの反応は私たちに神が人として今日私たちに期待される彼と繋がるための肯定的な模範を示してくれています。今日の聖句に取り組む前にまず祈りましょう。

創世記 17 章 15-16 節を読みましょう。

15. また神はアブラハムに仰せられた。「あなたの妻サライは、その名をサライと呼んではならない。その名はサラとなるからだ。」

16. わたしは彼女を祝福し、彼女によって必ずあなたに男の子を与える。わたしは彼女を祝福する。彼女は国々の母となり、もろもろの民の王たちが彼女から出てくる。」神のアブラハムへの御言葉が続くと、神が個人だけではなく、家族単位でも、家族が契約を受けるのを見ます。アブラハムが新しい名前を与えられたのが彼の神との契約を反映したように、サライは今サラと呼ばれます。サラはサライの変化系ですが、その意味である王女をより強調しています。そして、実際神は御自身の彼女についての御言葉で、御自身がアブラハムに伝えた以上の大いなる祝福を与えました。彼女は子供を、具体的に息子を持ちます。そして彼女から国々が来るだけではなく、国々の王たちが来るのです。この約束された王族の血筋を示すことにより彼女の名前である王女の強調が説明されます。

ここで明らかなことは神の契約が家族に及ぶことです。さて、私たちの長老教会の兄弟姉妹はこの概念を盾にとり、幼児も教会に表されている神の家族に契約の一員であるからとして、幼児洗礼を擁護します。私はそこまで適応を広げることができないと信じていますが、神は家族を通して御業をなさいます。聖書の使徒パウロは明らかに独身ですが、神が用いられる民の多くには夫や妻があります。妻のベスは数週間前に私に聖書でサラは大きく描写されていないと指摘しました。彼女はハガルに対しての仕打ちや、最初にアブラハムをハガルとの関係を持つことを押し付けるなど実際かなり悪い事を行っています。それでも、神が彼女とも契約を結ばれる事を知り安心しませんか。

結婚している私たちにとり、これは神の私たちの人生への召しは家族あるいは夫婦としてである事を示しています。それがあなたのための神の御心であれば、それはあなたの夫か妻のための神の御心であり御計画です。神があなた方二人共に召しを与えるまで、どちらも召されることはないでしょう。ただ、あなた方が互いに同意できないことがないわけではありません。また、気乗りしない渋々の承諾がないというわけでもありません。神に仕えることはあなたの配偶者として、親としての責任を拒否することではありません。今日の示された聖句が許す以上の拡大をしてしまいますので、応用の妥当性についてはここで終わりにします。しかし、次に読むのは今日のキリストの信者である私たち全員と神の民がいまだに非常に明白に持つ傾向である人の契約の歪曲です。それらの聖句を読みましょう。17-21 節. 7. アブラハムはひれ伏して、笑った。そして心の中で言った。「百歳の者に子が生まれるだろうか。サラにしても、九十歳の女が子を産めるだろうか。」

18. そして、アブラハムは神に言った。「どうか、イシュマエルが御前で生きますように。」 19. 神は仰せられた。「いや、あなたの妻サラが、あなたに男の子を産むのだ。あなたはその子をイサクと名づけなさい。わたしは彼と、わたしの契約を立て、それを彼の後の子孫のために永遠の契約とする。」

20. イシュマエルについては、あなたの言うことを聞き入れた。必ず、わたしは彼を祝福し、子孫に富ませ、大いに増やす。彼は十二人の族長たちを生む。わたしは彼を大いなる国民とする。」

21. しかし、わたしがわたしの契約を立てるのは、サラが来年の今ごろあなたに産むイサクとの間にある。」

アブラハムが彼の信仰によって認められたことを覚えていますか。彼は神が彼し、イシュマエルを約束の子として受け入れるよう神を説得しようとしています。彼は彼とサライの年齢は彼らの子供を儲けると言うことは肉体的に不可能であることを正しく認識していました。彼はこれに対して笑いさえして、人間的に言うると老人に子作りは不可能であるのです。ですから、彼はこの問題の解決策を人間の理解を通して見つけようとしています。

それはまるで、神様、見てください。私はもうすでにもう一人の息子がおります。答えがここにあります。と言っているようです。しかし、神の解決策は必ずしも、人の理解や限界の枠に囚われません。アブラハムは神の理解の欠如から神を彼の人のイメージの枠に嵌めようとしてしました。ですから、神はイザヤ書でこう言われます。イザヤ書 55章8~9節 8. 「わたしの思いは、あなたがたの思いと異なり、あなたがたの道は、わたしの道と異なるからだ。——主のことば——

9. 天が地よりも高いように、わたしの道は、あなたがたの道よりも高く、わたしの思いは、あなたがたの思いよりも高い。神の御計画は私たちと私たちの限られた物の考え方より遥かに大きく、私たちが神を説得しようと試みる時、私たちは神の栄光をはっきりと見ていないのです。その代わりに、神を私たちの型に填めようとしているのです。人はいつもそのようにしようとします。私たちは神を説得して、神に私たちの見方をするよう納得させようとします。もし十分に善行を積み、私を受け入れてくれますか。本当にどれだけの善行を積んでも神に受け入れてもらえないのでしょうか。神様、本当にあなたは私をイエス様の犠牲によらなければ受け入れてくれないのですか。そしてクリスチャンは神の御言葉を自分たちの選択を是認するために歪曲しようとします。よく聞くことは、この人はクリスチャンではないことを知っていますが、私はこの人が好きです。ここには他にもいませんから。また、聖書がは何と言っているかは知っていますが、性行為を結婚まで待つのは時代遅れです。お互いが相性がいいか見極める必要があります。

ありがたいことに、アブラハムの信仰の欠点にも関わらず、神はじっと忍耐強く彼に戻り、サラを通して約束の息子が与えられると言う御自身の約束を繰り返されます。神はただあなたには息子が与えられると言うだけでなく、あなたが彼につける名前も伝えました。とても具体的です。神は彼のアブラハムとの契約においても非常に具体的でイシュマエルではなく、イサクを通してと告げられました。神はここでアブラハムにいまだかつてされたことがなかった、成就までの予定を示されました。神は来年のこの時期にサラは彼の子イサクを産むと告げました。

私たち人間の本質はいまだに私たち人の状況や期待に合うように神の御心を歪めようとします。そして、神は私たち彼の子供たちの信仰が弱い時にでも常に我慢強くされます。神は多くの場合、私たちが解決策と思っているものの一部を与えてくれますが、御自身の全き御心は行われます。それがここでも神はイシュマエルも祝福されると言われて起こったことです。神はもうすでにイシュマエルの母のハガルに御自身がイシュマエルを祝福されると告げていましたが、アブラハムにもその事を明らかにされました。しかしこれもまだ神のアブラハムとの契約を成就させる御自身の御計画ではありませんでした。それでも、神は耳を傾けられアブラハムの見当違いの願いに忍耐強い愛で応えられました。それでは神の御心や約束を私たちの状況に沿うよう歪曲しようとするのが、私たちの信仰が欠如する中での対処方法でなければ、どのように反応すべきでしょうか。

私たちにマルコの福音書9章のイエスに近づいたある父親の模範があります。彼の息子が悪霊または悪魔に攻撃され彼自身を自傷させようとしてしました。父親はイエスの下に来て、彼に助けるために何かして欲しいと懇願しました。

マルコの福音書 9章23~25節 23. イエスは言われた。「できるなら、と言うのですか。信じる者には、どんなことでもできるのです。」

24. するとすぐに、その子の父親は叫んで言った。「信じます。不信仰な私をお助けください。」

25. イエスは、群衆が駆け寄って来るのを見ると、汚れた霊を叱って言われた。「口をきけなくし、耳を聞こえなくする霊。わたしはおまえに命じる。この子から出て行け。二度とこの子に入るな。」その父親の反応こそが私たちの反応であるべきです。信じます。不信仰な私をお助けください。神に私たちの見方をするよう説得するのではなく、私たちが信じて信頼することができるよう神に助けて頂けるよう祈りましょう。

ここで私たちの神学的理解が重要になります。先に私はエペソ人への手紙2章8-9節は端的に信仰は神からの賜物であると言いました。

エペソ人への手紙 2章8~9節

8. この恵みのゆえに、あなたがたは信仰によって救われたのです。それはあなたがたから出たことではなく、神の賜物です。

9. 行いによるものではありません。だれも誇ることもないためです。

救いの信仰が神からの賜物ならば、神は私たちの信仰が弱っているときに強めてくださることが出来ます。私たちの状況を神の御計画に組み込もうと説得を試みるより、私たちは一人になり神に主を信頼する

信仰を嘆願するべきです。ここでアブラハムがしているように、神に話すことによって彼は正しい場所に向かいました。彼の祈りは彼の信仰の弱さを露呈しましたが、神は御自身の御計画に対するアブラハムの疑問にも進んで耳を傾けられました。神があなたの祈りを聞く事を望まれない、あなたの信仰は弱すぎて神に対して質問する事ができないなどとは決して思わないでください。神はあなたの祈りをたとえその祈りが神の御計画と目的に疑問を呈したとしてもそれに耳を傾ける事を望まれます。しかし私たちが理解してもしなくとも、私たちは与えられている信仰によって従順に行動すべきです。これは創世記 15 章のアブラハムの生涯の中心に戻ります。 [創世記 15 章 6 節](#)

"アブラムは主を信じた。それで、それが彼の義と認められた。彼の信仰は常に彼の服従によって証明されました。ここでもまた彼の服従が神の契約の信頼のしるしである事を見ます。それをこの章の最後の 22-27 節で見ます。 22. 神はアブラハムと語り終えると、彼のもとから上って行かれた。

23. そこでアブラハムは、その子イシュマエル、彼の家で生まれたすべてのしもべ、また、金で買い取ったすべての者、すなわち、アブラハムの家のすべての男子を集め、神が彼に告げられたとおり、その日のうちに、彼らの包皮の肉を切り捨てた。

24. アブラハムが包皮の肉を切り捨てられたときは、九十九歳であった。

25. その子イシュマエルは、包皮の肉に割礼を受けたとき、十三歳であった。

26. アブラハムとその子イシュマエルは、その日のうちに割礼を受けた。

27. 彼の家の子らはみな、家で生まれた奴隷も、異国人から金で買い取った者も、彼と一緒に割礼を受けた。

アブラハムは神の御心に疑問を呈し、私たちも行うように捻じ曲げようとしたかもしれませんが、しかし、彼は持ち合わせた信仰によって行動して神の命令に服従しました。神が彼に与えたその命令は男子全員が割礼を受けると言う彼の家族にとっては恒久的に神にはアブラハムと子孫との契約がある事を思い出させるものでした。そして、アブラハム、イシュマエル、男は子供から大人までと彼ら全員が含まれます。私たちは以前にアブラハムの生涯で、彼の信仰は服従によって証明されたと指摘しました。また、私たちはいつもヤコブの手紙 2 章 17 節で神がこう仰っているところに戻ります。 [ヤコブの手紙 2 章 17 節](#)

同じように、信仰も行いが伴わないなら、それだけでは死んだものです。もし私たちに真の信仰があれば、たとえ小さな、弱く、ぐらつくいた信仰であっても、私たちがどのように神に従順であるかを示すでしょう。私たちはビクビクしながら、ぎこちなく、もしかしたら見苦しくもあるかもしれませんが。それでも私たちは行います。私たちには、神への服従は、男性であれば、肉体的な割礼ではありません。キリストを知る者全員にとりバプテスマがそのしるしになります。割礼の代わりに私たちの心と意思の神への従順な全面的服従です。

この真理はローマ書 2 章で神との特別な関係の証明が彼らの割礼の行為であると信じるユダヤ人へのパウロの語りかけに見られます。その代わりに、神は使徒パウロを通して真の信者の印は聖霊の内住により私たちの心の中にあるのです。

[ローマ人への手紙 2 章 28~29 節](#) *28. 外見上のユダヤ人がユダヤ人ではなく、また、外見上のからだの割礼が割礼ではないからです。*

29. かって人目に隠れたユダヤ人がユダヤ人であり、文字ではなく、御霊による心の割礼こそ割礼だからです。その人への称賛は人からではなく、神から来ます。そして、私たちは先週と同じようにここで終わります。割礼はもう神の民の一人であるしるしではないのです。その代わりに、バプテスマによる証明が服従の行為なのです。そして聖霊のバプテスマの御業が神の者となるしるしをつけるのです。今日、ここにいらっしゃるあなたがイエス・キリストと共にいらっしゃらなければ、あなたは神から遥か遠くに離れています。あなたは神の家族の一員ではありません。あなたが出来る全ての良い行いも目一杯の働きも神との関係を得ることはありません。しかし、イエス・キリストの信仰を通して、あなたの身代わりの彼の十字架での死があなたにキリストの義を与えます。あなたは、アブラハムの子孫であるイエス・キリストを通してアブラハムの霊的な子供となり、神の家族の一員として受け入れられます。そして、私たち全員にとり、信仰の印は服従です。あなたは神があなたにするようおっしゃっていることに従っていますか。たとえ理解できなくとも、人間的に不可能に思えても、聖霊の導きに従うようあなたの人生の全てを委ねていますか。100 歳の男と 90 歳の女との間に子供が生まれることは不可能でした。しかし、6 週間後に、私たちは約束の子イサクが生まれる事をの記述を読みます。そして、その約束の息子から、創世の初めから約束されていたお方、メシア、蛇を頭を潰す方、私たちの救い主イエス・キリストは来られます。祈りましょう。

Genesis 17:15-27 The Sign of the Covenant part 2

So today we're in Part 2 of Genesis 17 talking about the **Sign of the Covenant**. God has come to Abraham and he has told him that his name would now be Abraham instead of Abram as a constant reminder of the covenant. And then where we left off last week God told Abraham that as a sign of the covenant all his male relatives from then on would be circumcised. What we're going to see as this episode ends in Abraham's life is that his response shows us that human nature doesn't change. The same mistakes that Abraham makes we as humans continue to make today. But Abraham's response also shows us a positive example of how God expects us as humans to relate to him today. Let's pray and then get into this passage this morning.

Let's begin by reading Genesis 17 verses 15-16. **15 And God said to Abraham, "As for Sarai your wife, you shall not call her name Sarai, but Sarah^[d] shall be her name. 16 I will bless her, and moreover, I will give^[e] you a son by her. I will bless her, and she shall become nations; kings of peoples shall come from her."** As God's Words to Abraham continue, we see that God works not just in individuals, but in families as **the family receives the Covenant**. Just as Abraham was given a new name that reflected God's covenant with him, Sarai is now called Sarah. Sarah is a variation of Sarai that emphasizes more fully its meaning of "Princess." And, really God gave a greater blessing in his words about her than those he spoke of Abraham. She would have a child, and specifically a son. Also, not only would nations come from her, but kings of nations. So, showing this royal line that is promised to her explains the emphasis on her name, Princess.

What is clear here is that God's covenant extends to family. Now, our Presbyterian brothers and sisters would take this idea to defend the baptism of babies because they are part of a covenant family of God as expressed in the church. I don't believe we can take the application that far, but God does work through families. Some like the Apostle Paul in the Bible are clearly single, but most of the people God uses have a wife or husband. Beth pointed out to me a few weeks ago that there is not a great picture of Sarah presented in the Bible. She actually does some pretty bad things like how she treats Hagar and pushing Abraham into the relationship in the first place. But isn't it great to know that God is making his covenant with her as well.

For those of us who are married, this shows us that the call of God on our lives is as family or at least as a couple. If it is God's will for you, then it is God's will and plan for your husband or wife. Until God calls you both, he doesn't call either of you. Now, that doesn't mean that you won't disagree or that there won't be some of what I would call reluctant acceptance, but serving God will not mean rejecting your responsibilities as a spouse or a parent. I'm going to leave that application there, because I think I may be stretching it beyond what the Scripture's text allows. But what we read next is very clearly a tendency that all of us as followers of Christ and people of God still have today as we see a **Human twisting of the Covenant**.

Let's read verses 17-21. **17 Then Abraham fell on his face and laughed and said to himself, "Shall a child be born to a man who is a hundred years old? Shall Sarah, who is ninety years old, bear a child?" 18 And Abraham said to God, "Oh that Ishmael might live before you!" 19 God said, "No, but Sarah your wife shall bear you a son, and you shall call his name Isaac.^[f] I will establish my covenant with him as an everlasting covenant for his offspring after him. 20 As for Ishmael, I have heard you; behold, I have blessed him and will make him fruitful and multiply him greatly. He shall father twelve princes, and I will make him into a great nation. 21 But I will establish my covenant with Isaac, whom Sarah shall bear to you at this time next year."** Remember that Abraham has been recognized for his faith. He is trusting that God will use him to bring about nations. But, he tries to twist the covenant and reason with God to accept Ishmael as the promised son. He recognizes rightfully that his and Sarah's age means that physically it is impossible for them to have children. He even laughs at this, humanly speaking, impossibility of old people having children. So, he looks for a solution to this problem through human understanding.

It's as if he is saying, "Look God, I already have this other son, and the solution is right here." But God's solutions don't always fit human understanding or limitation. Abraham was lacking in his understanding of God and trying to fit God into his human image. It's why God says in [Isaiah 55:8-9](#) For my thoughts are not your thoughts, neither are your ways my ways, declares the Lord. 9 For as the heavens are higher than the earth, so are my ways higher than your ways and my thoughts than your thoughts. God's plans are so much bigger than us and our limited finite way of thinking, and when we try to reason with God, we are clearly not seeing God in his glory. Instead, we are trying to fit God into our box. And people try to do this all the time. We try to reason with God and twist him to see things our way. "If I do enough good things, then won't you accept me? Are you sure there are not enough good things I can do to be accepted by God?" "God, are you sure that you will only accept me based on the sacrifice of Jesus Christ?" And Christians try to twist God's Words to approve our choices as well. A common one is, "I know this person isn't a Christian, but I really like them and there aren't any other Christians here." Or "I know what the Bible says, but waiting until your married to have sex is old fashioned and we have to see if we're compatible."

Thankfully, in spite of Abraham's shortcomings in his faith, God still patiently comes back to him and reiterates his promise to give him a Son through Sarah. He not only says, you will have a son, but here is the name you will give him. That is very specific. God is also very specific that his covenant with Abraham would go through Isaac and not Ishmael. God also here gives Abraham a timeline to this fulfillment which he has not done before. He says that by that time the next year, Sarah would bear his child, Isaac.

So, our human nature is still to try to twist God's will to meet our human situation and expectations. And God is so patient with us, his children, even when we are so weak in our faith. God many times will give us in part what we think is the answer, while still carrying out his perfect will. That's what happens here as God says that he will bless Ishmael as well. Now, God had already told Ishmael's mother Hagar that he would bless Ishmael, and he makes that clear to Abraham as well. But this was still not God's plan to fulfill his Covenant with Abraham. But he still listened and responded with patient love to Abraham's misguided request. So if trying to twist God's will and promises to our circumstances is not how to handle our lack of faith, then how should we respond.

We have an example of the proper response in a father who approaches Jesus in Mark chapter 9. His Son had an evil spirit or demon attacking him that made him do physical harm to himself. He came to Jesus and begged him if he could to do something to help. In [Mark 9:23-25](#), Jesus responds to him, "If you can! All things are possible for one who believes." 24 Immediately the father of the child cried out and said, "I believe; help my unbelief!" 25 And when Jesus saw that a crowd came running together, he rebuked the unclean spirit, saying to it, "You mute and deaf spirit, I command you, come out of him and never enter him again." That response from the father should be our response. "I believe; help my unbelief." Instead of trying to twist God to our view, let's pray and ask God to help us believe and trust.

This is where our theological understanding is important. I have stated before that Ephesians 2:8-9 read plainly says that Faith is a gift from God. [Ephesians 2:8-9](#) says, 8 For by grace you have been saved through faith. And this is not your own doing; it is the gift of God, 9 not a result of works, so that no one may boast. If saving faith is a gift from God, then God can strengthen our weak faith, even when it is failing. Instead of trying to reason our circumstances into God's plan, we should be getting alone with God and crying out to him for the faith to trust him. In a way Abraham was doing that here. By talking to God, at least he was going to the right place. Even though his prayer showed a weakness of his faith, the fact is that God was willing to hear even his questioning of his plan. Never think that God doesn't want to hear your

prayer...that your faith is so weak that you can't raise those questions to God. He wants to hear your prayer even if that prayer is questioning his plan and purpose.

But whether we understand or not, we must act on what faith we have in obedience. This goes back to the core of Abraham's life from [Genesis 15:6](#), [And he believed the LORD, and he counted it to him as righteousness](#). And his faith was demonstrated always by his obedience. This is what we see here again as his **Obedience is the sign of faith in the God of the Covenant**. We see that as we end this chapter with verses 22-27. [22 When he had finished talking with him, God went up from Abraham. 23 Then Abraham took Ishmael his son and all those born in his house or bought with his money, every male among the men of Abraham's house, and he circumcised the flesh of their foreskins that very day, as God had said to him. 24 Abraham was ninety-nine years old when he was circumcised in the flesh of his foreskin. 25 And Ishmael his son was thirteen years old when he was circumcised in the flesh of his foreskin. 26 That very day Abraham and his son Ishmael were circumcised. 27 And all the men of his house, those born in the house and those bought with money from a foreigner, were circumcised with him.](#)

Abraham may have questioned and tried to twist God's will as do we, but he acted on what faith he had and obeyed God's command. The command God had given him was that as a permanent reminder to his family that God had a covenant with Abraham and descendants, all males would be circumcised. And everyone of them was, to include Abraham, Ishmael and every other boy or man. We've pointed this out before in the life of Abraham that his faith is demonstrated by his obedience. And we always go back to the book of James for this where God tells us in [James 2:17](#), [So also faith by itself, if it does not have works, is dead](#). If we have true faith, even a faltering faith that is small and weak, it will show in how we obey God. Now, we may do fearfully awkwardly, maybe poorly; but we will do it. For us, the place of obedience is not physical in circumcision if we are male; although it is in the sign of baptism for all who know Christ. Instead it is in complete submission of our hearts and will to God in obedience.

This truth is seen in how Paul addresses Jews who trusted in their act of circumcision as proof of their special relationship with God in Romans chapter 2. Instead, God says through the Apostle Paul that the true mark of a believer is in our hearts, by the Holy Spirit who indwells us. [Romans 2:28-29](#) says, [28 For no one is a Jew who is merely one outwardly, nor is circumcision outward and physical. 29 But a Jew is one inwardly, and circumcision is a matter of the heart, by the Spirit, not by the letter. His praise is not from man but from God](#). So, again we end where we did last week. The sign of circumcision is no longer a mark of being one of God's people. Instead it is in the act of obedience as demonstrated in baptism, and in the inner work of the baptism of the Holy Spirit that marks us as God's own. If you are here today without Jesus Christ, then you are apart from God, you are not one of God's family. There is no amount of work you can do to earn that relationship with God. But, through faith in Jesus Christ and his death on the cross in your place, you will be given Christ's righteousness and accepted as one of God's family, Abraham's spiritual children through his descendant, Jesus Christ. And the mark of that faith for all of us is obedience. Are you obeying what God is telling you to do? Is all of your life submitted to the Holy Spirit's control to follow his leading even when it doesn't make sense or it seems humanly impossible? It was impossible for a child to be born to a 100 year old man and a 90 year old woman, but in 7 more weeks, we will be reading about the promised son Isaac who is born. And from that promised son will come the one promised from the beginning of Creation, the Messiah, the snake crusher, our Savior, Jesus Christ. Let's pray.